



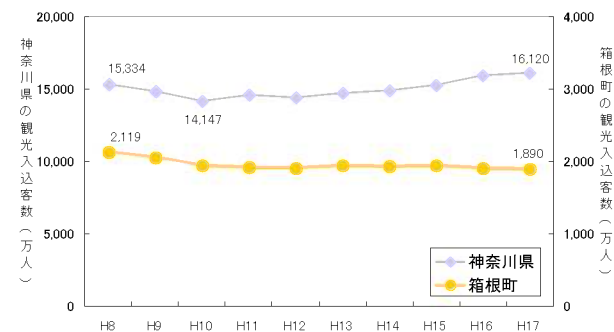
箱根坂道は渋滞関所



●箱根周辺の国道1号の観光渋滞を緩和したい

■箱根町の観光客数は減少傾向

観光客数は2千万人を割り込んでいます。



観光入込客数の推移

出典: 神奈川県入込観光客調査報告書

■箱根エリアの観光客消費額は県内トップ

箱根・湯河原・小田原で約1千億円の観光消費。



観光客消費額(県内上位5位)

出典: 神奈川県入込観光客調査報告書(平成15年)

■観光交通の妨げとなっている休日渋滞

小田原と箱根を結ぶ国道1号の坂は渋滞の関所となっています。



渋滞損失時間(平日)



渋滞損失時間(休日)

出典: 道路交通センサス(平成17年度)より算出

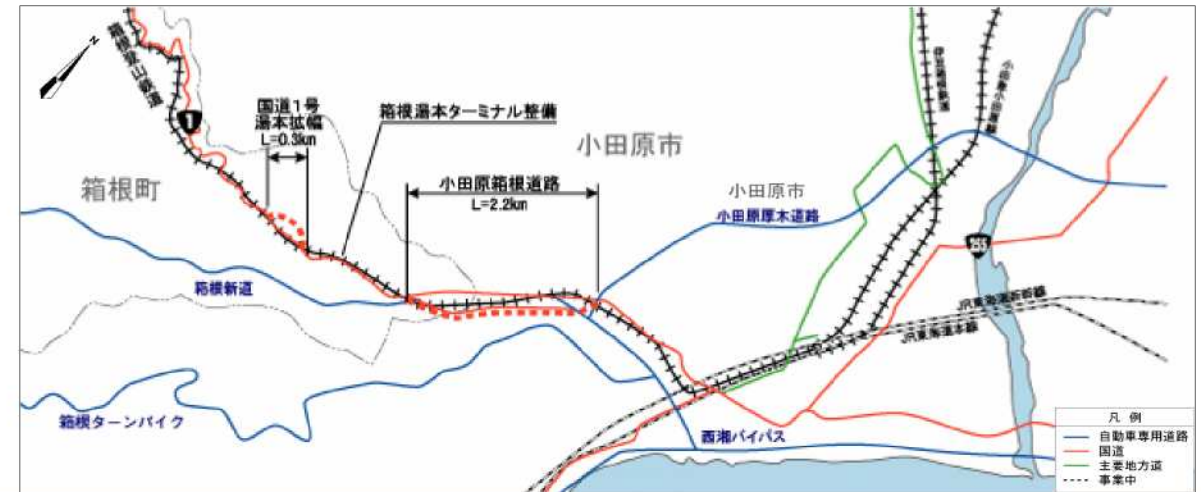


箱根芦ノ湖



箱根関所

●観光の魅力の向上に貢献するみちづくり

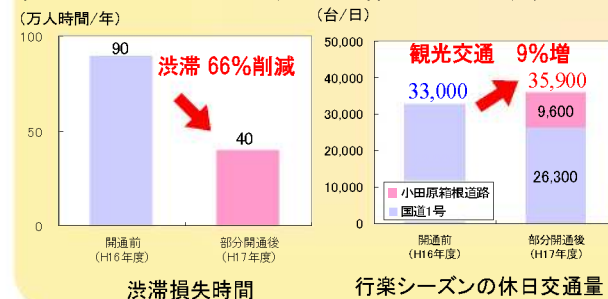


【小田原箱根道路(国道1号)】

小田原市風祭の西湖バイパスと箱根町湯本の箱根新道を結ぶ2.2kmの4車線のバイパス

(整備効果)

平成17年3月に2車線で部分開通し、国道1号の渋滞緩和が図られました。渋滞が緩和されたことにより、秋の行楽シーズンの交通量は増加しています。



国道1号風祭交差点(部分開通前)



国道1号風祭交差点(部分開通後)



小田原箱根道路

【箱根湯本ターミナル整備】

箱根湯本駅を橋上駅舎化し、国道1号をまたぐ横断デッキや駅前広場などを一体的に整備



箱根湯本ターミナル整備イメージ図

【国道1号 湯本拡幅】

幅員が狭い国道1号函嶺洞門を迂回する0.3kmのバイパス



函嶺洞門(全景)

【交通需要マネジメント】

箱根スマイル2,000万人プロジェクト検討委員会では、誰もが快適に観光を楽しめる移動環境を実現し、観光客の満足度を向上させるため、交通混雑緩和や回遊促進について、パークアンドライドなどの社会実験も行いながら、検討を進めている。

●目標：箱根エリアの観光渋滞を解消しスムーズに通れるようにします

エリア指標	H17現況値	概ね10年後
観光混雑時所要時間	87分	約80分

(対象路線：国道1号 小田原市早川口交差点～箱根峠)